



関ロータークラブ

RI会長 / バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう "Be The Inspiration"

53代会長 / 加藤浩二

2018-19年度 関ロータークラブ会長テーマ

行動しよう! 情熱を持って

会長 加藤 浩二

副会長 大岩寿喜子

幹事 林 昇

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

Rotary



本日のプログラム 第 2517 回例会 2018 年 9 月 25 日 (火)

『ベトナム支援事業について』 後藤信介さん

『新会員スピーチ』 宮本卓比郎さん



前例会の記録・第 2516 回 9 月 11 日(火)12:30

『身だしなみについてのロータリーの考え方』

パスト会長 堀部哲夫さん

- ◆開会点鐘
- ◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱
- ◆会長挨拶



先日の早朝例会の折、清掃して頂きました関川の歩道にメンバーの塚原君の施工でホテルの看板を設置して頂いています。完成後は、10月23日に中濃保育園の園児を交えてお披露目式を行いますのでご案内申し上げます。そして、いよいよベトナム事業に向けての支援活動を始めさせて頂きました。昨年ベトナム視察の報告をさせて頂きま

したが、視察を行った小学校は、都心から離れた貧しい学校でした。とても日本の小学校とは比較にならない環境です。教科書は兄弟の使い回し、ノート鉛筆は大変貴重で大事に使っています。文字、単語の書き方は消して使うことができる黒板の板です。このIT時代にパソコンは職員室に1台ある程度です。そんな教育環境の中で、派遣として専門の学校で日本の企業水準まで、猛勉強をして日本企業に来られます。初期教育の時期にパソコンがあればもっと優秀な人材が来ることは間違いありません。ぜひ、今週より皆さんに改めて、雰囲気を知って頂き支援いただくためにも支援のご依頼と共に状況写真も重ねてご覧いただき理解して頂きながら何卒心強いご支援をお願いしたいと思います。

国際ロータリーが推奨しています映画のご紹介をしたいと思います。ロータリーが撲滅に力を入れているポリオ(急性灰白髄炎)の悲惨さと、障害を抱えながら懸命に生きる男性の実話を描いた映画『ブレス しあわせの呼吸』が9月7日にKADOKAWA配給で全国ロードショーされました。ストーリーは主人公のロビン・カベンディッシュは、28歳にしてケニアで野生型ポリオウイルスに感染し首から下が麻痺となり、人工呼吸器をつけて病院で寝たきりとなり、医師から余命数カ月と宣告を受けます、大変落ち込んでいる彼に、妻や兄弟の献身的な協力で、残る余

生を身体障害者への支援と人工呼吸器つき車椅子の普及に捧げた夫婦愛と兄弟愛の絆を綴った超感動作です。これだけだと切ないヒューマンドラマですが、この映画の制作スタッフが超豪華です。プロデューサーが『ブリジット・ジョーンズの日記』などを手がけたジョナサン・カベンデュッシュ、主人公の息子、監督は「ロード・オブ・ザ・リング」や「スターウォーズ」に俳優として出演したアンディ・サーキスの初監督作品、主演はアンドリュウ・ガーフィールド『スパイダーマン』主人公、妻役にゴールデン・グローブ賞を受賞した実力派女優クレア・フォイ、脚本は「グラディエーター」「レ・ミゼラブル」を手がけたウィリアム・ニコルソンと言った、豪華スタッフ陣ですので、完成度は保証付です。是非ご覧になってください。そして関ロータークラブではポリオ募金にも力を入れて、今年は刃物祭りの会場にブースを出して地区委員会の方とポリオ撲滅のための募金活動をしたいと思っています。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 福田春彦

会員 50 名中 出席 25 名 出席率 51.03%

◎ニコボックス委員会 委員 木村聡

会長・副会長・幹事の皆さん・・・タグラグビー普及事業に沢山のメンバーの参加ありがとうございました。天候には恵まれず、初めての体育館での開催でしたが、関市フットボール協会の方々や朝日大学フットボール協会の皆さんのご協力のもと、参加してくれた小学生には屋外と変わらず良い経験ができたと思います。山谷委員長、委員会の皆様ご苦勞様でした。本日の卓話、パスト会長の堀部哲夫様、これから関RCを担う若い会員に刺激になるお話よろしく願います。

堀部哲夫さん・・・本日卓話をさせていただきます。お役に立つお話ができるか心配ですが、よろしく願います。

今峰、長尾、杉浦、酒井、亀井、清水(公)、高井、東谷の皆さん・・・堀部パスト会長、本日はご苦勞様です。「身だしなみは自分の鏡」ということで、ロータリアンとしての「身だしなみについて」よろしく願います。

林(隆)、藤井、早川、酒向(徳)、山田、猿渡、塚原の皆さん・・・8月のIGMホストの福田さんあり

がとうございました。「丸しん」にて、美味しいお料理と楽しいお酒、ごちそうさまでした。誠にありがとうございました。

◆『身だしなみについてのロータリーの考え方』

パスト会長 堀部哲夫さん



最近の関ロータリーの例会にも様々な恰好で出席されるメンバーが増えて来ました。地区のセミナーや会合においても急速に服装が変わってきています。先日行われた財団のセミナーでの服装を見ていると120名ぐらいで80%がネクタイをしたスーツ姿でした。10%がクールビズでスーツ、又はジャケットにノーネクタイです。残り10%は上着を着用しない完全なクールビズでした。ガバナー補佐が1名だけアロハシャツにチノパンでした。アロハシャツが決して悪い訳ではないでしょうが・・・ハワイのロータリークラブではアロハシャツが例会のスタンダードな服装だそうですから。服装については、「定款にも特別な規約は無くクラブの理事会の決議で決めてもいいことです。」という意見は多く、それはその通りだと思います。但し、理事会はどんな考えを基に決めるか？理事会で決めるのであればロータリー精神や建前を良く考える必要が有ります。「理事会の決議は全てロータリアンとしての品位と倫理観に基づく事を原則とする。」でなくてはなりません。理事会で議論する時の心がけとしてください。私の個人的な意見は、服装について特別な取り決めも理事会の決議も必要ないと思います。個人の裁量にお任せが良いと思っています。ロータリーとは、「すべてを受け入れる寛容性と倫理観です」から。規則や取り決めをすると矛盾やつじつまの合わない事も多くなります。スーツが良くて作業着が悪いとすると、「スーツやジャケットも、もともと作業着ではなかったですか？」という意見も出てきます。今もスーツで仕事をしている人は多くいます。僧侶の袈裟を作業着だと言う人と重なります。僧侶にとって袈裟は我々のスーツと同じです。作業着は作務衣です。アロハシャツが公に認められるところと「あれはチョット・・・」と非難される境は何処に有るのでしょうか？私なりに思うロータリーの服装の基準を述べさせてください。これは、私の考えであり皆さんに押し付けるものでは有りません。それぞれの考えが有っても良いと思います。ロータリーの起源は「親睦を通じて互いの倫理観を向上させて、心から信頼できる仲間を増やすことです」故に、例会に集まった相手に不快な思いをさせない服装をすることが基準だと思います。不快な思いをさせない服装ですから「清潔な服装で有ることは最低線必要なこと」ではないでしょうか。作業着でも洗濯された清潔な物を着用すべきでしょう。せっかく例会で信頼できる知り合いを増やす機会ですから他人から見て「好感を持たれる服装」、「自分の品格を落とさない服装」、或は、「信用を得られる服装」をするべきでしょう。それはスーツでなければ出来ない事だとは思われません。しかし、講師やお客様が有るときはその方に合わせた服装をすることもロータリアンの品性ではないかと思えます。お客様や卓話の講師がスーツネクタイで来られているのに、迎える側がみんな汚れた作業服ではいけないでしょう。この場合、特に例会の担当者で講師と接する人は服装

に注意すべきでしょう。又は、講師に当クラブの服装について情報を与えるべきでしょう。「当クラブは例会での服装にはこだわっていませんので軽装でお越しく下さい」と。例会日に仕事で作業着を着ていても時間に余裕があれば、汚れた作業着は着替えて例会に出席するべきでしょう。しかし、着替える暇もないくらい忙しい時はやむを得ないでしょう。「着替える時間がないから例会に出られない」と言うくらいであれば、着替えなくても良いので出席を優先させるべきでしょう。仲間は、「着替える暇もないくらい忙しいのに、よく例会にきてくれた」と歓迎するでしょう。それこそが、ロータリーの寛容性だと思います。

次に、ロータリーバッヂ（徽章・エンブレム）について話をさせていただきます。ロータリーでは皆さんがバッヂと思っているのは徽章でありエンブレムと言います。胸に着ける名札をバッヂと言います。この徽章を付けることにはどんな意味が有るのでしょうか？RI定款第13条「会員の称号と徽章」には「クラブの正会員はロータリアンとして認められ、RIの徽章、バッヂ又はその他の記章を着用する権利を与えられるものとする」と書かれています。ポール・ハリスは「ロータリーのバッヂは資質の保証となるべきものでなくてはならない」と言っています。エンブレムは単なる標識ではなくそれを着けている人の「善意と寛容」を説き、その心を象徴するものです。つまり、ロータリアン一人ひとりの個人生活や事業活動、そして、社会活動において常に思いやりや、人の為にとという奉仕の理想を實踐する心構えを自覚するために着けるのが徽章（エンブレム）です。それゆえにロータリアンは、ロータリーに対する公共イメージを上げるために、ビジネスや社交の場で常にエンブレムを着用し、これを信用と奉仕の象徴としなければなりません。ロータリーバッヂを着けていれば、国内はもとより世界中の何処のロータリークラブの例会にも出席ができます。そして、あらゆるロータリアンと知り合いになり、親睦を通して見分を広め、品性を磨きながら奉仕を行うことが出来ます。様々な会合や場面でロータリアン以外の人から、「あの人は品性が有り、道德観念が高い人だと思ったら、やはりロータリアンだ。ロータリーのエンブレムを着けている」とか「あの人は信用できるよ。だってロータリーのエンブレムを着けているよ。」と言われるようになる事がロータリーの最終目的でもあると思います。ロータリーバッヂに恥じない行動を心がける事が、我々の使命だと考えます。

◆9月のゴルフ会

日時：9月9日（日）8：27

場所：美濃関C.C

優勝：伊佐地啓司さん

◆幹事報告

◎例会終了後『理事、役員会』開催



次例会のご案内 10月2日（火）12：30

「出席表彰」「健康診断」 担当：出席委員会

例会：毎週火曜日 12：30

例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F

事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリア2F